

2019

9/1

September
No.331

市報 やまぐち



～昭和から平成 そして令和を走る～

特集 聖火がつなぐ

- 山口市ふるさと創生推進事業補助金募集 6
- 市政トピックス 8
- 山口ゆらめき回廊 10
- 国際交流員コラム「ホストタウンってしっちょる？」 10
- 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」 11

号40周年記

令和元年 8月1日

聖火がつなぐ



1964年の東京から 2020年の東京へ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まで、いよいよ1年を切りました。同一都市での複数回開催はアジア初。前回大会は50年以上前のことです。今号は、オリンピックのシンボルである聖火リレーを、1964年を振り返りながらご紹介します。

☎ スポーツ交流課 ☎ 083-934-2874

聖火リレー実施日およびルート

2020年5月14日(木)

岩国市 ⇒ 柳井市 ⇒ 光市 ⇒ 下松市
⇒ 周南市 ⇒ 防府市 ⇒ 山口市

2020年5月15日(金)

宇部市 ⇒ 山陽小野田市 ⇒ 下関市
⇒ 美祢市 ⇒ 長門市 ⇒ 萩市

※実施市とその順番は今後変更になる場合があります。コースの詳細は、年末頃に公表の予定です。



今 からおよそ6年前の2013年9月7日、アゼルバイジャンのブエノスアイレスで行われたIOC総会のことを皆さんは覚えていらっしゃるでしょうか。日本時間では翌8日未明のこと。当時、眠い目をこすって、発表をドキドキしながら待っていた方もいるかもしれません。

この日、トルコのイスタンブール、スペインのマドリッド、日本の東京の3候補から、2020年オリンピックの開催地最終選考が行われました。「開催地は東京」。そう発表された瞬間、日本中が大変な熱気に包まれたのは記憶に新しいところです。招致スピーチでの「おもてなし」という言葉が、流行語にもなりました。

あれから6年。開催決定はつい先日のごとくですが、元号は平成から令和へと変わり、時代は確かに進んでいます。そして現在、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、いよいよというところまで迫ってきました。

これから開催に向けたさまざまなプロセスが本格化します。各競技の選手選考、会場準備、競技の運営方法、そして、大会

シンボルとなる聖火リレーの実施などです。

聖火のつなぐもの

東京2020オリンピック聖火リレーは、来年3月26日に福島県を起点とし、7月24日の開会式までの121日間をかけ、全国47都道府県を巡ります。山口県では、上の図のように岩国市から始まり、西部、北部へと聖火が各地の名所を訪れる予定です。また、1日目の最終地である本市では、中央公園で聖火の到着を祝うイベントも計画されています。聖火ランナーの募集は、8月31日をもって締め切られ、選考により決定した走者たちが、来年の5月14日と15日の2日間、県内各地で聖火をつなぎます。

2度目となる東京オリンピック。走者から走者へ灯が渡されるように、1964年の大会から2020年の大会へはどんな灯が渡されるのでしょうか。

今号では、1964年に聖火ランナーを務めた2人の物語をご紹介します。来年の初夏、本市を駆け抜ける聖火と、聖火に思いを託すランナーに、あたたかいご声援をお願いします。



1964年の聖火リレーの様子を伝える当時の山口市報(左)と阿知須町広報(右)。山口市報では、「～野良着のままかけつけた農家の人、エプロン姿の主婦、幼稚園児や小・中校生徒らが日の丸の小旗を手に、すき間もなく埋めつくして迎えました」と、当時の盛り上がり方を伝えています。



①②セレモニーの様子③
④走者集合写真⑤沿道で
声援を送る人々⑥走る聖
火ランナー⑦白バイに先
導される聖火ランナー(全て
阿知須で撮影されたもの)



your Olympic torch relay 兼重隆文さんに聞く

あたたかな心をつなぐ



▲聖火ランナーに声援を送ろうと、沿道を埋める多くの人。写真右端はトーチを持って走る兼重さん



▲上：トーチを持つ兼重さん（中央）／下：聖火ランナーのユニフォーム。まるで昨日渡されたかのように、きれいな状態で保管されていた。

「こ れを見つけた時、母のあたたかな心に触れたようで、胸に込み上げてくるものがありました」。55年前、阿知須地域で聖火ランナーを務めた兼重隆文さんは、白く柔らかなユニフォームに目を落として語りました。

中学高校と陸上競技に打ち込んでいた兼重さんに、阿知須の体育協会から聖火ランナー就任の打診があったのは18歳の時。当時はその大役の意味するものを漠然としかイメージできず引き受けたそうですが、年齢を重ねるにつれ、その時のことが、大きな感動を伴って思い起こされるそうです。

兼重さんが駆け抜けたのは阿知須の岩倉から土路石の区間。

沿道で一生懸命応援してくれた祖母の姿、父の日記に記された「聖火リレー応援」の文字、どこまでも続く沿道の人々の笑顔が今も脳裏に焼き付いています。

ただ、日本中が熱狂に包まれたオリンピックも終わりと、慌ただしい日常が戻ると、聖火リレーもいつしか過去のことに。そのとき着用していたユニフォームの存在も、その後すっかり忘れてしまっていたそうです。

兼重さんは見つけます。それは50年以上前のものとは思えぬほどきれいな状態で、とても大切にされていたことが手に取ると伝わってきました。「息子が聖火ランナーとして走ったことを、母はとても喜んでいたに違いなし。親心ですね」。兼重さんの話からは、オリンピックが誰か特定の人のためのものでなく、思いを寄せるすべての人のものであることが伝わってきます。

「前回大会は、日本の復興と平和を象徴するものでした。次の大会は、国を問わず、多くの人にとって平和を願うきっかけとなってもらいたい」。奥さんとお孫さんを傍に語る兼重さんの言葉には、あたたかな心につながる未来が見えます。



③山内則男さん高校時代の部活動集合写真。最前列左から2人目が則男さん／②第42回全国高校駅伝で京都の街を駆け抜ける息子の健太郎さん／①全国高校駅伝（鹿児島県予選）で2区の走者へ1位でタスキを渡す孫の健登さん（右）



「途 切れぬほど続く沿道の人々の声援を受けながら、先頭で、聖火の灯るトーチを持って故郷を走りました。あのときの高揚感は50年以上たった今でも忘れられません」

大内中学校前のバス停から鯖地のバス停まで、およそ1キロの距離。高校2年生、17歳の時。山内則男さんは聖火ランナーとして小鯖地域を走りました。

きっかけは、学校の体育の先生からかけられた、「聖火ランナーとして走ってみないか」という言葉でした。突然の提案に山内さんは驚きはしたものの、またとない榮譽なことと思い、引き受けることに。家に帰って家族に報告すると、みんなが大変喜んでくれました。

1964年は国内で初めて開催されるオリンピックをきっかけに、カラーテレビが普及し始めた頃。大会が始まると、当時、中国電力山口支店前にあったテレビで、学校帰りの山内さんも



競技を観戦したそうです。国立競技場に聖火を届けた一員として、高校生だった山内さんの目に、1964年のオリンピックは、きつと特別なものに映っていたことでしょう。

親から子へ、またその子へ

幼い頃から活発で運動が好きだった山内さんは、運動会などでも陸上選手を務めることが多く、若い頃から走ることにこだわりもありました。家庭を持ち、息子さんが学校に通うようになると、お子さんのマラソン大会などでは当然、声援にも熱が入ります。そんな山内さんの影響を受けてか、息子の健太郎さんは陸上競技を本格的に志して体育大学へ。そして今度は、健太郎さんが練習する姿を見て育った孫の健登さんもまた、陸上競技の世界に身を置くことになりました。現在、県外の高校3年生である健登さんは、インターハイへ2年連続で出場するほどの実力の持ち主です。

親から子へ、子が親となり、またその子へ。ひとりでは困難な道のりを、聖火をつないで駆け抜けるリレーのように、山内さんのスポーツへの思いもまた、世代を越えてつながっていきます。

your Olympic torch relay 山内則男さんに聞く

次の世代へ絆をつなぐ



右：山内さんが聖火ランナーを務めたときに着用したゼッケン／下：聖火ランナーに配られた記念メダル



4つの分野を 応援します。

地域の活性化や地域課題の解決に向けて取り組む新たな事業活動を応援します。

過去の認定事例

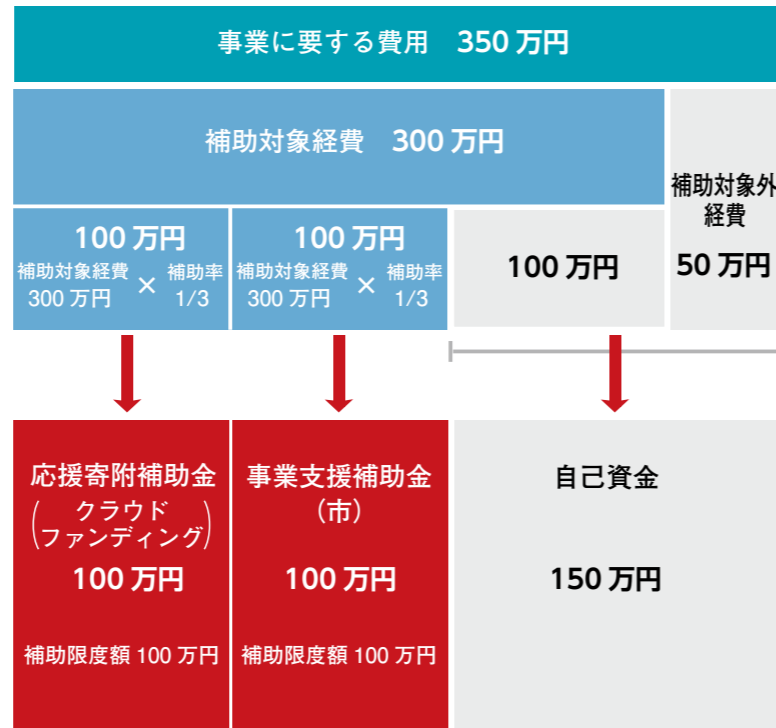


H29年度認定事業
ゆだを明るくするプロジェクト

湯田温泉に「湯田モダン」を取り入れた統一的なデザインの提灯「燈華」を2,000個設置。安全・安心な街とするとともに、経済効果の高い夜の街歩きを促進し、湯田温泉の活性化を図ったもの。

補助金イメージ

(例) しごと創生分野の場合



① しごと創生分野

本市において展開される新たなビジネス、または本市の地域資源を活用した新たなビジネスで、「稼ぐ力」の強化（地域経済の活性化）や「しごと」づくり（雇用創出、産業振興）に効果が期待できる事業

応援寄附補助金	補助率：補助対象経費の1/3以内 補助限度額：100万円	事業支援補助金	補助率：補助対象経費の1/3以内 補助限度額：100万円
---------	---------------------------------	---------	---------------------------------

② ひとの流れ創生分野

本市における地域資源や地域の特性、優位性を戦略的に活用し、交流人口の拡大や移住定住の促進につながる事業

応援寄附補助金	補助率：補助対象経費の1/3以内 補助限度額：50万円	事業支援補助金	補助率：補助対象経費の1/3以内 補助限度額：50万円
---------	--------------------------------	---------	--------------------------------

③ 結婚・出産・子育ての 希望に応える環境創生分野

結婚・出産・子育てにおける相談・支援等を目的に、若い世代の希望に応え、安全・安心に暮らせるような環境整備につながる事業や市民生活における安心、地域活動における活力を生み出す事業

応援寄附補助金	補助率：補助対象経費の1/3以内 補助限度額：50万円	事業支援補助金	補助率：補助対象経費の1/3以内 補助限度額：50万円
---------	--------------------------------	---------	--------------------------------

④ 学生起業分野

大学生や専門学校生等が、学生生活を過ごす中で感じた地域・社会課題の解決に資する事業を起業により行うもの

応援寄附補助金	補助率：補助対象経費の1/2以内 補助限度額：75万円	事業支援補助金	補助率：補助対象経費の1/2以内 補助限度額：75万円
---------	--------------------------------	---------	--------------------------------

山口市ふるさと創生推進事業補助金 募集を行っています

締切 9.30(月)

「山口市ふるさと創生推進事業補助金」は、市内外の人々から広く共感を得られ、地域の活性化や地域課題の解決に向けて取り組まれる、地方創生に資する新たな事業活動を応援する補助制度です。

この制度は、事業活動に係る必要な経費の一部について、ふるさと納税を組み入れた寄附型クラウドファンディングによる応援寄附補助金に加え、事業支援補助金を事業者に交付し、本市のふるさと創生に向けた事業活動に活用していただくものです。

市民の皆さんをはじめ、事業に共感された方々による寄附により、本市に活力を生み出す仕組みです。今回、新たに「学生起業分野」を加え、若者の定着を図ることとしていきます。

あなたの思いに多くの共感を呼び込み、実現させるチャンスです。ぜひ、皆さんも、ふるさと創生にチャレンジしてみませんか。なお、認定にあたっては、審議会による審査を実施します。

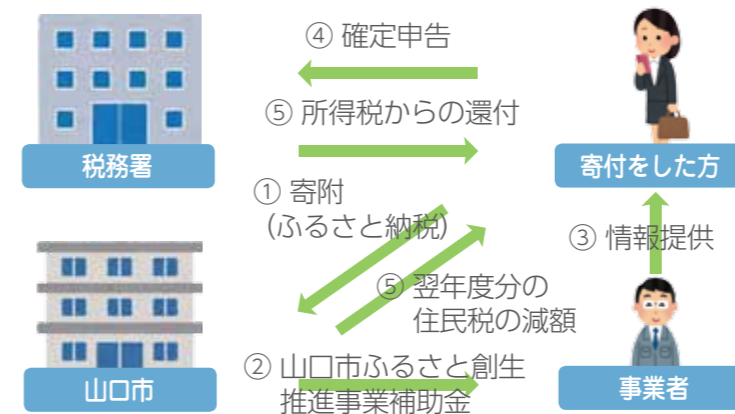
山口市ふるさと産業振興課
083-934-2928



【寄附型クラウドファンディング】とは

クラウドファンディングとは、不特定多数の人がインターネット経由で事業提案者に財源の提供や協力などを行うことで、投資型、購入型、寄附型の3種類があります。このうち寄附型は、資金提供者が事業提案者に対して寄附として資金を提供するものを指します。

寄附のしくみ (事業者認定後に受付を開始します)



※給与所得のみ等、確定申告を行う必要がない方は、簡単な手続きでふるさと納税の寄附金控除を受けることができます。「ワンストップ特例制度」が利用できます。

※インターネット環境がない場合やクレジットカードをお持ちでない場合は、現金や振り込みでの応援も可能です。詳細はふるさと産業振興課までお問い合わせください。

KAiKA ふるさと納税



寄附の方法

- ① パソコンやスマホで特設サイトへアクセス
特設サイト「KAiKA ふるさと納税」にアクセス
<https://www.yamaguchi-city.kaika-cf.jp/>
- ② 応援したい事業を選択
- ③ 寄附額を選択し、「寄附を申し込む」をクリック
「KAiKA」への会員登録が必要
- ④ ログイン後、クレジットカード情報等を

募集期間は **12月13日(金)** まで



ウェブサイトでも公開中

濟南市・山口市青少年交流訪問団による交流活動

本市の友好都市である中国・山東省濟南市とは、国際社会を担う子どもたちの育成を目指す、毎年、互いの文化や生活習慣を理解しあう心を育む交流事業に取り組んでいます。

今年も濟南市青少年交流訪問団11人が本市を訪れ、7月10日から14日までの5日間滞在。11日（木曜日）には、市長を表敬訪問されました。

また、7月22日（月曜日）には、本市から濟南市に派遣される小学生の訪問団出発式を



濟南市青少年交流訪問団の皆さんと市長



出発に向けて思いを語る団員たち

を鹿児島市内で栽培育成し、収穫した酒米を原料としています。また、醸造するのは山口市の金光酒造です。

今回、銘柄名とラベルデザインを手がけたのは、作家、美術家、画家としてポータルに活躍する大宮エリーさん。大宮さんは、「ラベルには清らかな流れを表現し、鹿児島と山口のような結びつきが広がれば、との思いを込めた。私も友だちに送りたいと思っており、仲の良い人と楽しんで飲んでもらえるのでは」と思いを語りました。

観光交流課 ☎083・934・2810



商品をPRする大宮エリーさん

「なかびあ」オープニングイベントを開催

7月20日（土曜日）、「中市まちなか広場」の完成を記念して、オープニングイベントを開催しました。このたび完成した広場は、中市コミュニティホールNac前庭と一体的な活用ができるようになっており、この両エリアを総称したものと

山口総合支所で開催し、その後、団員10人は31日（水曜日）から8月4日（日曜日）にかけて濟南市を訪問し、濟南市青少年宮での体験活動等を行いました。

両市の子どもたちは、ダンスをテーマとする交流事業を中心に、各所でさまざまな体験・交流活動を行って、友好関係を深めました。

観 国際交流課 ☎083・934・2725

交通安全ベストの贈呈式を行いました

7月16日（火曜日）、県トラック協会山口支部から、交通指導や見守り活動の際に着用する交通安全ベスト500着を寄贈いただきました。ベストには、表と裏に名札などを差し込めるよう工夫されています。

市長は、「寄贈いただいたベストは児童の安全確保や、先生、保護者、地域の方が見守り活動をする際の安全にもつながると期待している」と感謝の言葉を述べ、山本支部長は、「交通事故の防止、通学途中の児童の痛ましい交通事故撲滅は、今日の大きな社会問題。今後も交通事故の防止に努め、未来ある子どもたち

「なかびあ」という愛称が公募により決まっています。

式典で渡辺市長は、「なかびあの愛称の由来のとおり、ここに集う人がつながり、その輪がさらに大きな輪となって、中心市街地のにぎわいの発信源となるとともに、地域の活性化に資する、新たな憩いの空間となることを心から願っている」と挨拶しました。また、中市商店街振興組合の岸田副理事長は、「子どもから大人まで利用していただいて、人々の輪につながるような場所として大いに活用したい」と述べられました。

関係者によるテープカット、もちまきの後には、クラフトワークショップや音楽のパフォーマンスなどが行われ、オープン初日から大変な盛り上がりを見せていました。

観 都市整備課 ☎083・934・2935



完成した「なかびあ」

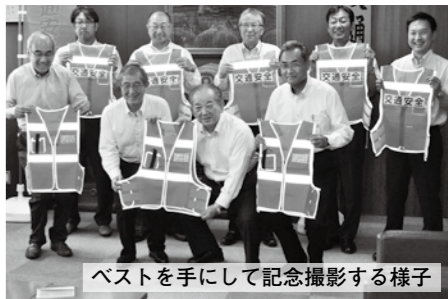
小学生バレーボールチームが全国大会出場を報告

7月26日（金曜日）、山口市の「鏝銭司バレーボールスポーツ少年団」

「守りたい」と述べられました。

県トラック協会山口支部は、平成24年から毎年、のぼりや横断幕など交通安全事故を防止するためのグッズを寄贈されています。

観 生活安全課 ☎083・934・2765



ベストを手にして記念撮影する様子

来年2月、県内初の「グ公式戦」を本市で開催

平川地域出身の石川佳純選手が所属する卓球リーグの「木下アビエル神奈川」（女子）が、令和2年2月11日（火曜日）に大内長野のやまぐちリフレッシュパークで県内初となる公式戦を行うことになり、7月17日（水曜日）、木下アビエル神奈川を運営する木下テーブルテニスクラブの川村卓也社長ら4人が山口総合支所を訪れ、市長に報告されました。

川村社長は、「山口市はたくさんのお有名選手を輩出している。次の世代の子どもたちに、一流選手の活躍をぜひ見てもらいたい」と、同チームの応援グッズとサイン色紙を市長に手渡し、同席した石川選手の父・公

と「PIECE☆JVC」の選手と監督合わせて21人が山口総合支所を訪れ、全国大会への出場を市長に報告されました。

両チームは、8月6日（火曜日）から9日（金曜日）まで神奈川県川崎市で開かれた「かんぽ生命ドリムカップ第39回全日本バレーボール小学生大会」に県代表として出場。両チームとも、同大会への出場は初めてでした。

女子の部に出場された「鏝銭司バレーボールスポーツ少年団」のキャプテン上地乃々香選手は、「心を一つにをモットーに、ボールをしっかりとつないでいきたい」と決意を語り、男女混合の部に出場した「PIECE☆JVC」のキャプテン水野加奈選手は、「会場の雰囲気にもまれず、自分たちのバレーをし、一試合でも多く勝ちたい」と意気込みを語りました。市長は、「市内から2チームが全国大会に出場してくれて嬉しい。県の代表として一生懸命頑張つて」と激励しました。

観 スポーツ交流課 ☎083・934・2875



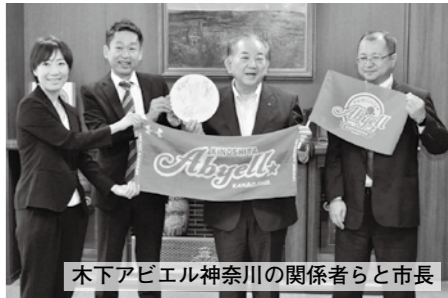
出場選手たちとの集合写真

清酒「ふれんど」制作発表会を開催

7月18日（木曜日）、薩長同盟日本酒プロジェクト第2弾として、清酒「ふれんど」の制作発表会を山口総合支所で開催しました。

幕末に坂本龍馬の仲介により長州から薩摩にお米が運ばれたという歴史に着想を得て、明治維新150年を契機に山口市と鹿児島市の民間、大学、行政などの関係者が連携し取り組んできた日本酒プロジェクトです。

このお酒は、山口大学農学部が酒米栽培に関する技術支援を行っており、鹿児島大学農学部と連携協力し、山口から運ばれた酒米「山田錦」



木下アビエル神奈川の関係者らと市長

表紙の写真 それゆけ！SL「やまぐち」号

表紙の写真は、8月1日に開催されたSL「やまぐち」号運転開始40周年記念イベントのひとつコマです。昭和54年8月1日にSLが山口線に復活して40周年となることを記念したイベントがこの日、新山口駅で行われました。1日ごと駅長、1日ごと車掌に任命された子どもたちが出発合図を出したり、SLに乗り込み車掌業務をしたりとイベントを大いに盛り上げました。

颯爽とホームに登場したSLは、この日のためにナンバプレートも赤く塗り（普段は黒、昔から使用しているヘッドマーク、12系客車時代のテールマークを特別に取り付けるなど、復活した昭和54年当時を彷彿させる姿で運転しました。

この記念すべき姿を見ようと、ホームはたくさんファンで埋め尽くされ、この40年間愛され続けていることが伝わってきました。



これからも変わらず、力強い走りでお若男女問わず笑顔にしてくれることでしょう。

観 広報広聴課 ☎083-934-2753

山口県央連携都市圏域では、多彩なイベントを開催中。さらに多くの情報は右のQRコードから。



美祢市 萩市 津和野町
山陽小野田市 宇部市 山口市 防府市

美祢 美祢ランタンナイトフェスティバル



美祢市と国際交流している台湾より取り寄せる、大小様々なランタンが鮮やかに灯り、心ませてください。ステージイベントや、eスポーツ、台湾グルメの出店なども楽しむことができます。

日時 9月28日(土) 15時から21時
場所 美祢市役所駐車場(美祢市大嶺町東分326-1)
問 美祢ランタンナイトフェスティバル実行委員会 ☎0837-53-1666

萩 萩・食の祭典2019 HAGIフードフェスティバル

萩の食の魅力を認知していただくため、食をテーマにしたイベントを開催します。萩ふるさと大使である熊谷喜八氏(KIHACHI創業者)と奥田政行氏(「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ)による、萩の食材を活用したビュッフェとバーベキューをお楽しみいただけます。

日時 9月16日(月・祝) 12時~15時
場所 道の駅萩しーまーと横(萩市椿東4160-61)
定員 先着200人
料金 5,000円
問 萩市企画政策課 ☎0838-25-3102



津和野 津和野夜神楽2019

毎年恒例の津和野夜神楽公演が本年も開催。会場は日本五大稲荷の一つ・太鼓谷稲成神社。夜の稲成神社、幽玄な雰囲気の中で手に汗握る勇壮な演武をご堪能ください。なお、公演当日には演目に応じて限定御朱印を授与します。

日時 9月7日(土)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日) 20時~21時
場所 太鼓谷稲成神社(津和野町後田409)
料金 大人500円、小学生以下無料
問 津和野町観光協会 ☎0856-72-1771



山陽小野田 かがく博覧会



科学を学ぶ楽しさや驚き、感動を体験できる企画が盛りだくさんです。29日(日)には米村でんじろうサイエンスプロダクション所属の海老谷浩さんによるサイエンスショーも開催します。

日時 9月28日(土) 10時10分~17時、29日(日) 10時~17時(29日のブース出展は16時まで)
場所 おのだサンパーク(山陽小野田市中川六丁目4-1)
問 山陽小野田市教育総務課 ☎0836-82-1200

宇部 チームラボ 宇部市ときわ公園 2019

光と音の幻想的な世界をお楽しみください。

日時 イベントホールのみ鑑賞する場合...11月4日(月・休)まで19時30分~17時(入館は16時30分まで)
イベントホールと植物館どちらも鑑賞する場合...9月29日(日)までは19時~22時/9月30日(月)~11月4日(月・休)は18時30分~22時
※全期間、入館は21時30分まで
場所 ときわミュージアム世界を旅する植物館、イベントホール(宇部市野中三丁目4-29)
料金 一般500円、高校生以下無料(小学生以下保護者同伴)
※イベントホールか植物館のどちらか一方を観覧される場合は一般300円
問 宇部市ときわ公園課 ☎0836-37-2888

防府 「腕前探訪」ふるさとの匠たち



今年もまた「匠」たちがアスピラートへやってくる。工芸作品から生活に密着した職人技、みごとな手仕事が大集合。美味しいモノは日替わりで出店者が替わりますので、何度でもご来場ください。

日時 9月13日(金)~16日(月・祝) 10時~16時(最終日は15時30分まで)
場所 アスピラート(防府市戎町一丁目1-28)
問 アスピラート ☎0835-26-5151

約1,000個のキャンドルが演出する幻想的な空間で、五重塔が一段と美しく見える風景をお楽しみください。

山口ゆらめき回廊

【日時】 9月16日(月・祝)、23日(月・祝)
キャンドル点灯: 18時30分~21時
【場所】 香山公園(香山町7-1)
問合わせ (総合) 大路口ビー ☎083-920-9220
(当日) 香山公園前観光案内所 ☎083-934-6630

9月16日 満月の庭のコンサート
【出演】 アイリッシュハーブ奏者 Chifumi
【時間】 19時から、20時30分から
【場所】 満月の庭(雨天時・本堂)

9月23日 満月の庭のコンサート
【出演】 シャンソン 松崎雅子
ピアノ 脇淵陽子
【時間】 19時から、20時30分から
【場所】 満月の庭(雨天時・本堂)

ゆらめきの灯り茶会
【時間】 17時30分から(20時まで受け付け)
【場所】 露山堂周辺(雨天時・松籟亭)
【料金】 一席500円

キャンドル点灯ボランティア募集

■内容・時間 全体活動...17時~21時30分/キャンドルの設置・点灯...17時~18時30分/消灯...20時40分~21時30分
■対象 個人・グループいずれも可能(中学生以下は保護者同伴)
■申し込み・問合わせ 希望日の前日17時までに、電話・FAX・Eメールのいずれかで、氏名・電話番号・〒住所・参加日時・生年月日を、大路口ビー ☎083-920-9220 FAX 083-920-9221 info@ojilobby.jp まで

ホストタウンってしっちょる? vol.6
山口市国際交流員 エフライン

今回は、山口で合宿をおこなった水泳スペイン代表チームと本市との交流についてご紹介します。
問 国際交流課 ☎083-934-2725

市民の応援が好成績のエネルギーに!

アーティスティックスイミング(AS)のスペイン代表チームが、7月12日~28日に開催された世界水泳選手権に向けた合宿のため、6月末に山口を訪れました。練習の初日には、あじす保育園の園児たちが飾り付けをした会場で選手を迎え、歓迎のダンスを披露しました。子どもたちのかわいい笑顔に選手たちは長旅の疲れも吹き飛んだ様子でした。

あじす保育園の園児たちがつくった応援ボード。真ん中にはスペイン国旗が描かれている。

6月30日に開催したエキシビションでは、オナ・カルポネル選手のソロ演舞をはじめとする華麗でダイナミックな演技により、1,000人を超える観客で満員になった会場は大いに盛り上がりしました。

声援に応える選手たち。この約2週間後に行われた世界選手権では、ハイライトルーティンでスペインチームが銅メダルを、オナ・カルポネル選手がソロテクニカル、ソロフリーで銀メダルを獲得した。

また、7月3日には山口県立大学栄養学科の学生との食の交流も行われました。学生たちは、この日のために4月から選手の栄養バランスを考えたメニューを準備してきました。学生たちの心のこもったおもてなしに選手は感動し、交流が終わる頃には友情も芽生えている様子でした。

山口県立大学の学生との記念写真



イベントカレンダー

9/1 (日)

あいおえび狩り世界選手権大会

所 中道海水浴場
固 山口観光コンベンション協会
☎ 083-933-0088



9/1 (日) ~ 12/1 (日)

リアル宝さがしゲーム 「うちら！ななゆめ調査団」

宝の地図に記載されたヒントをもとに街を歩き回り、隠された宝箱を探し出す謎解きイベントです。

所 山口市 (大殿・白石コース、湯田温泉周辺コース、阿知須コース)、宇部市 (北部コース、ときわ公園コース、市街地コース) の全6コース
固 山口ゆめ回廊博覧会実行委員会事務局 ☎ 083-934-4152

9/8 (日)

市民体育大会

所 維新百年記念公園、やまぐちリフレッシュパーク
固 スポーツ交流課
☎ 083-934-2912

ふしの川漁協まつり

所 榎野川漁業協同組合平川養魚池周辺 (平川河川公園)
固 榎野川漁業協同組合
☎ 083-922-3537

9/16 (月・祝)、23 (月・祝)

山口ゆらめき回廊

所 香山公園
固 大路西ビー
☎ 083-920-9220



9/22 (日)

どんぐりの森の宝探しツアー

所 国立山口徳地青少年自然の家
固 森林セラピー山口
☎ 0835-56-5234

9/23 (月・祝)

Happy COOL CHOICE Meeting

所 新山口駅北口駅前広場
固 環境政策課
☎ 083-941-2180

新山口ゆめフェスタ

所 小郡地域交流センター周辺
固 実行委員会
☎ 083-973-4274



9/26 (木) ~ 11/24 (日)

開館 25 周年記念展

「ムットーニからくり文学館」
所 固 中原中也記念館
☎ 083-932-6430

【9/26 (木) ~ 29 (日)】
ムットーニが語る！作品上演会
13時からと15時からの1日2回、ムットーニ本人が口上をまじえながら作品を上演します。

開催中のイベント

9/23 (月・祝) まで

特別企画展「富永太郎と中原中也」

所 固 中原中也記念館
☎ 083-932-6430

9/29 (日) まで

企画展「山口散策隊 - 信仰でたどる江戸時代 -」

所 固 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

11/30 (土) までの毎週土曜日

山口紙芝居定期上演

所 狐の足あと
固 観光交流課
☎ 083-934-2810



食の継承

まだまだ日中の暑さは残るものの、暦の上では処暑を過ぎ、朝夕は幾分しのぎやすくなるなど、秋の気配を感じる季節となりました。秋は「天高く馬肥ゆる秋」の言葉もあるように、多くの海や山の幸が食べ頃を迎えます。山口市でも、地元の農家の方々が丹精込めて育てられた新米をはじめ、はなっこりーやりんごなどの特色ある作物を美味しくいただくことができます。

近年では、本市の地域おこし協力隊を卒業された方々による、こうした新鮮で安全安心な地元食材を生かしたスパークリングワインの開発やレストランのオープン、また、新商品開発に向けた食の身近な相談所の設立など、生産を加工から販売へと繋げていく新たな取り組みも始まってきています。先世代々と受け継いできた土地で、地域の食文化や歴史を守り、未来へと継承される農家の方々や、食材の更なる魅力向上に取り組まれる方々の活動に、私も深く感謝しながら、そうした想いの詰まった秋の味覚を楽しみたいと思います。



あしたへトライ

山口市長 渡辺純忠

